

2022年 12月期
第2四半期
決算補足説明資料

2022年7月28日

 三菱鉛筆株式会社

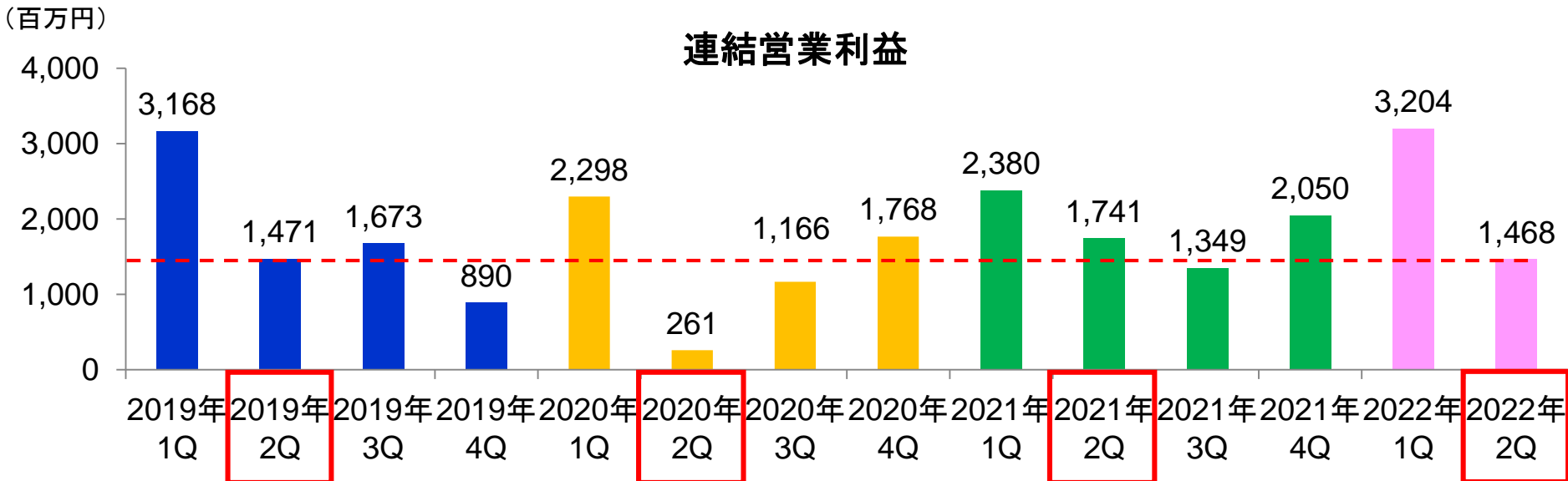
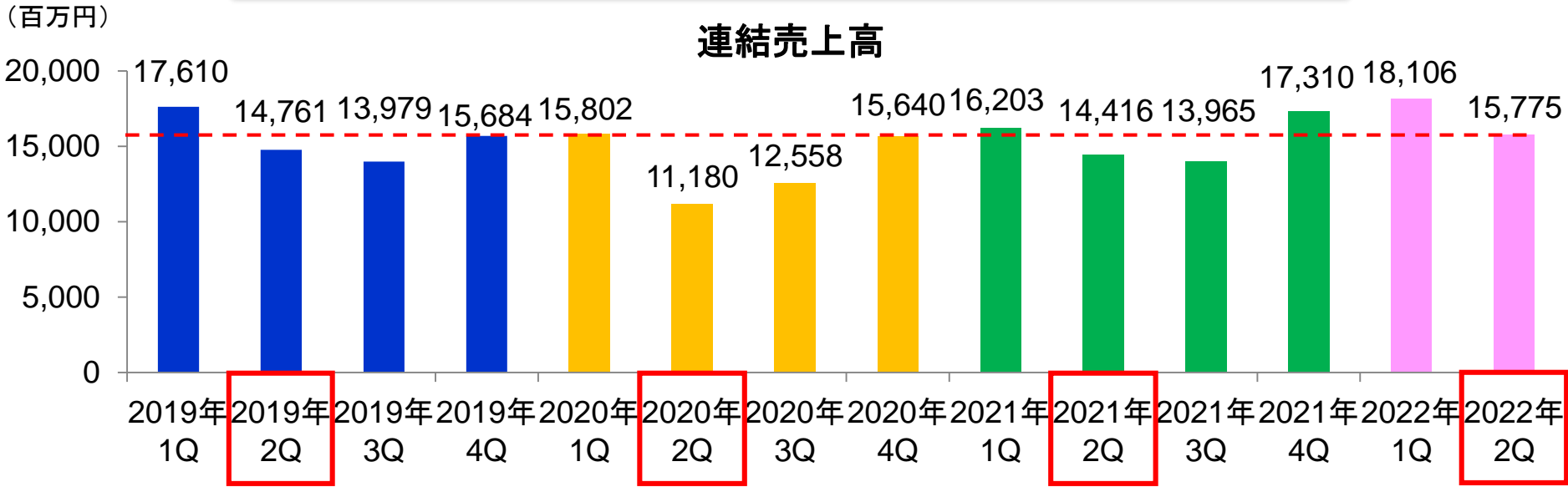
2022年第2四半期 連結決算 概略

【連結】 (百万円)	2022年	2021年	対2021年		2020年	2019年	2018年
	1-6月	1-6月	増減額	増減率(%)	1-6月	1-6月	1-6月
売上高	33,881	30,619	3,261	(10.7%)	26,982	32,371	31,289
(USD平均レート)	¥123.17	¥107.76	¥15.41	-	¥108.41	¥110.13	¥109.10
売上総利益	16,535	15,361	1,173	(7.6%)	13,686	16,206	16,180
(売上総利益率)	48.8%	50.2%	-	-	50.7%	50.1%	51.7%
販管費	11,862	11,240	622	(5.5%)	11,127	11,567	11,424
営業利益	4,672	4,121	551	(13.4%)	2,559	4,639	4,755
経常利益	5,570	4,691	879	(18.7%)	2,761	4,795	4,901
当期純利益※	3,908	3,234	673	(20.8%)	1,743	3,244	3,410

※親会社株主に帰属する当期純利益

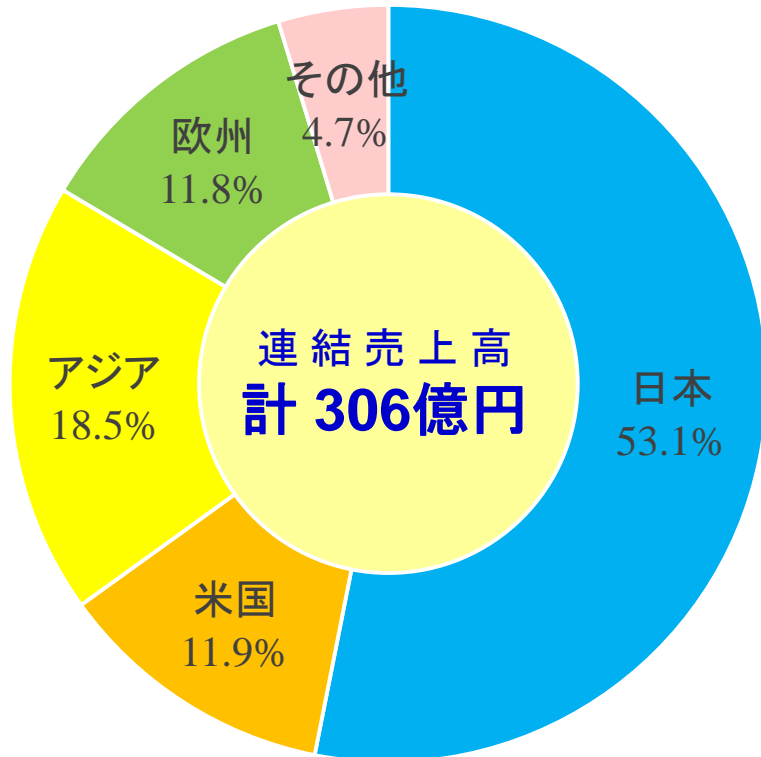
- ・売上高は海外市場を中心に需要が底堅く推移。加えて大幅な円安により拡大。
- ・売上総利益及び営業利益は原材料の高騰、世界的な物流の混乱の長期化による押し下げ影響はあるものの、売上高拡大に伴い販売差益が増加し伸長。
- ・経常利益は為替差益の拡大により増加。

売上高・営業利益は概ね順調に推移

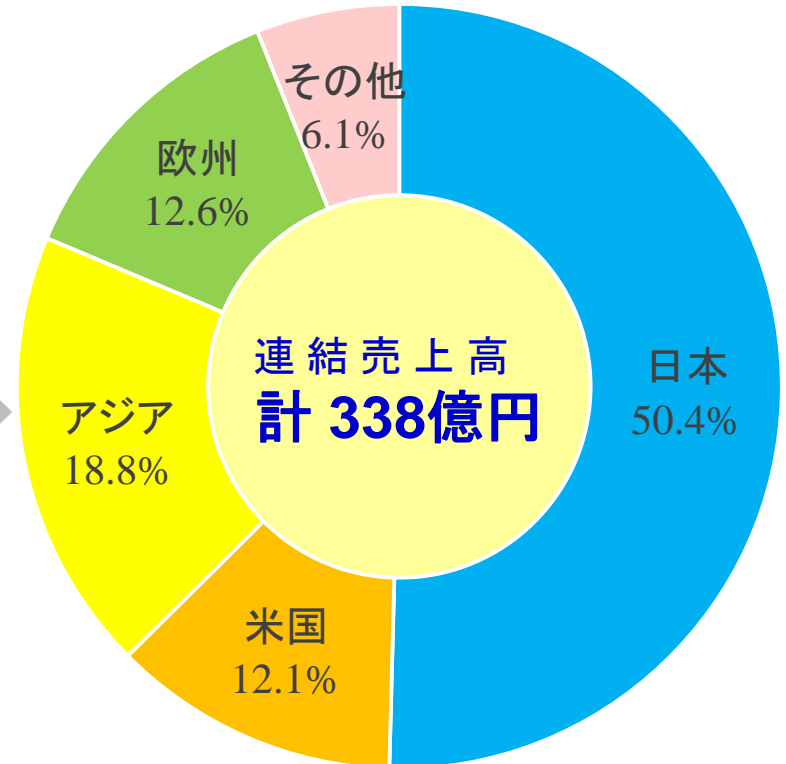


欧州およびその他地域の構成比が伸びる

2021年 1-6月

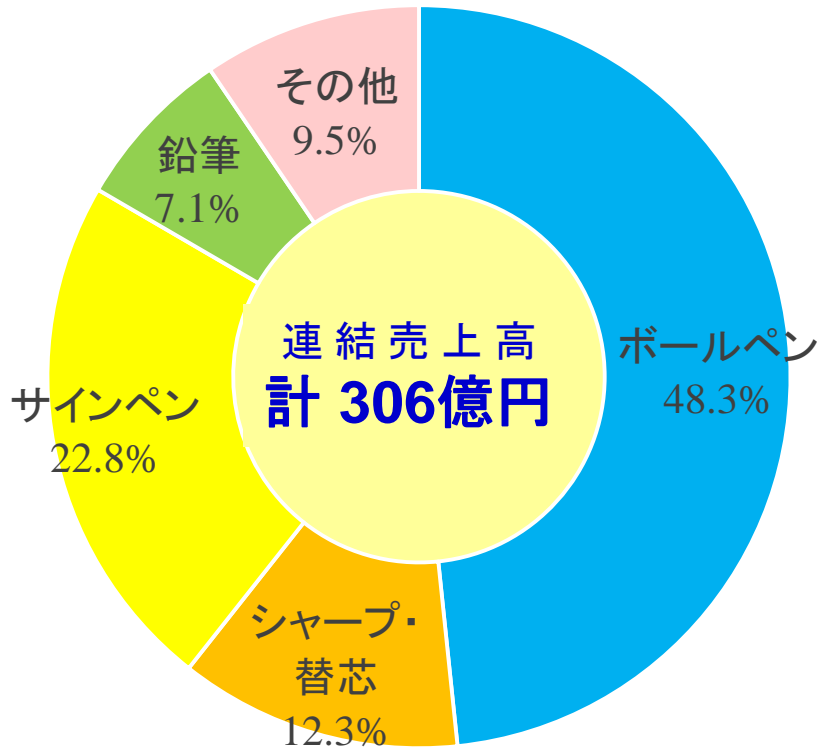


2022年 1-6月

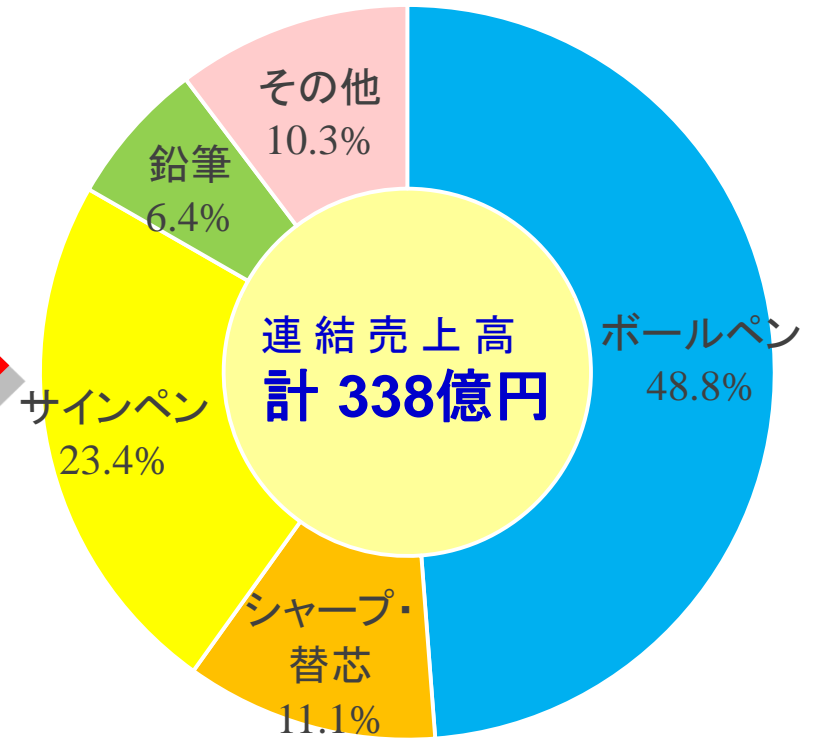


ボールペン・サインペンの構成比が拡大

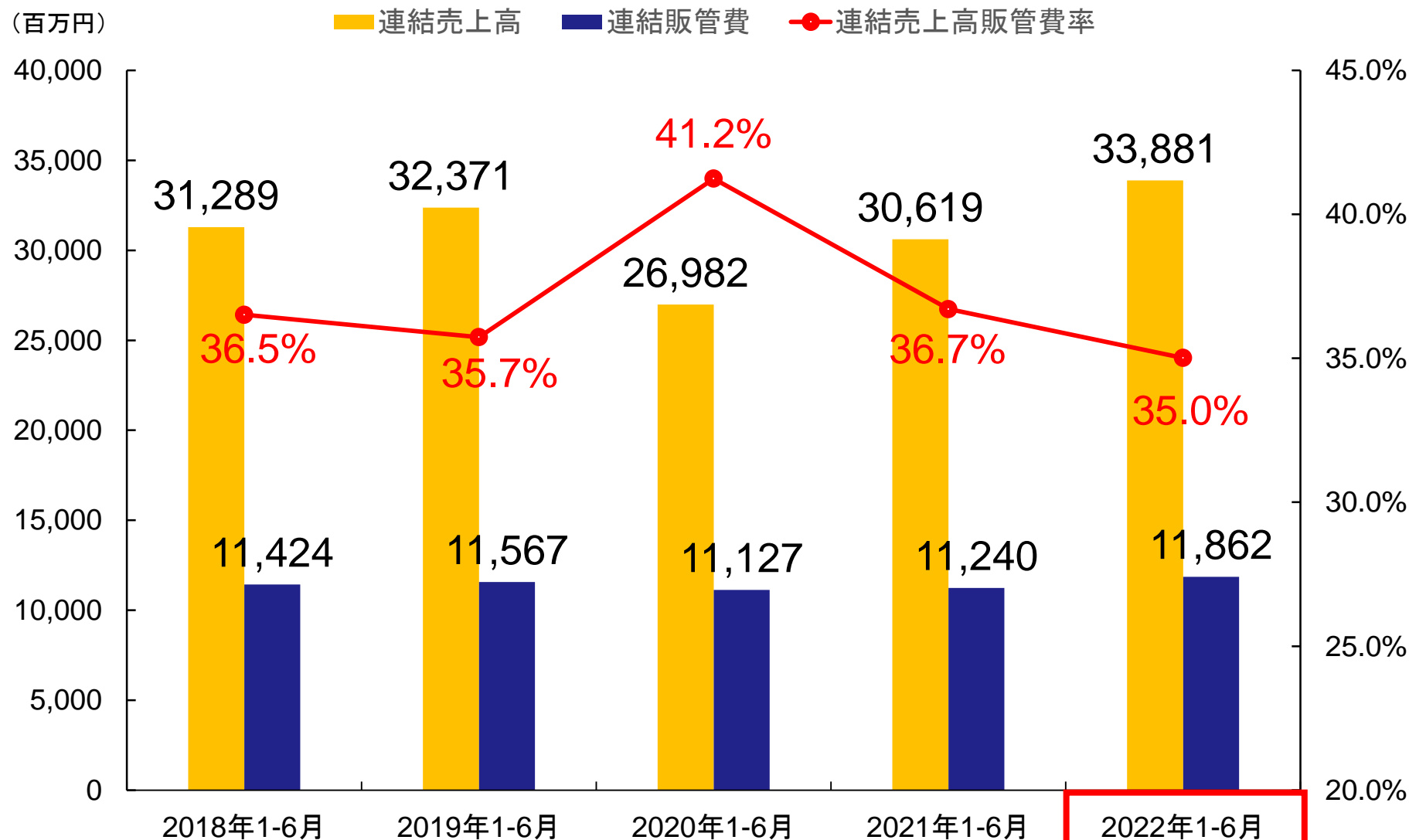
2021年 1-6月



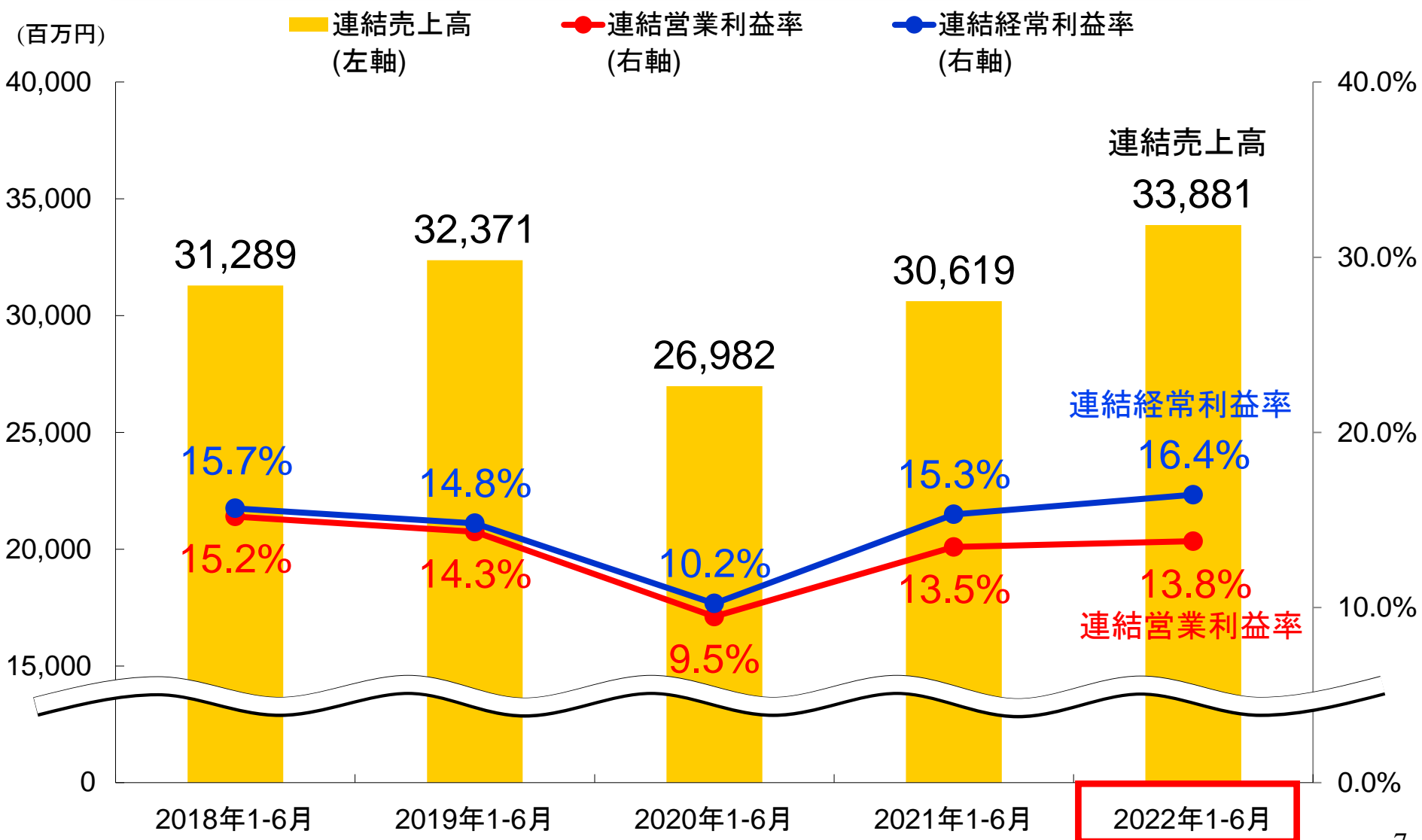
2022年 1-6月



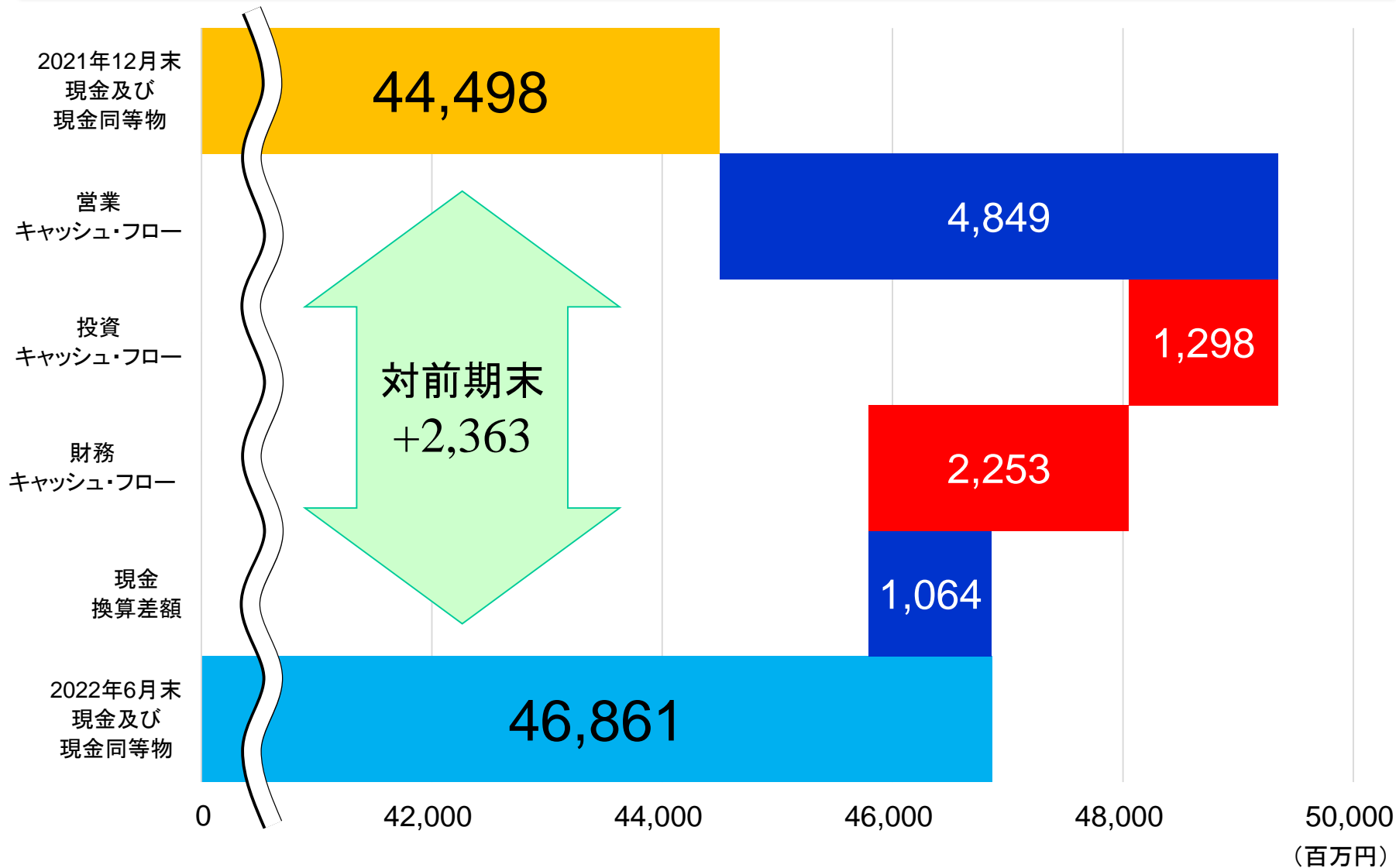
販管費率は売上高伸長により大幅に低下



営業利益率・経常利益率ともに上昇傾向



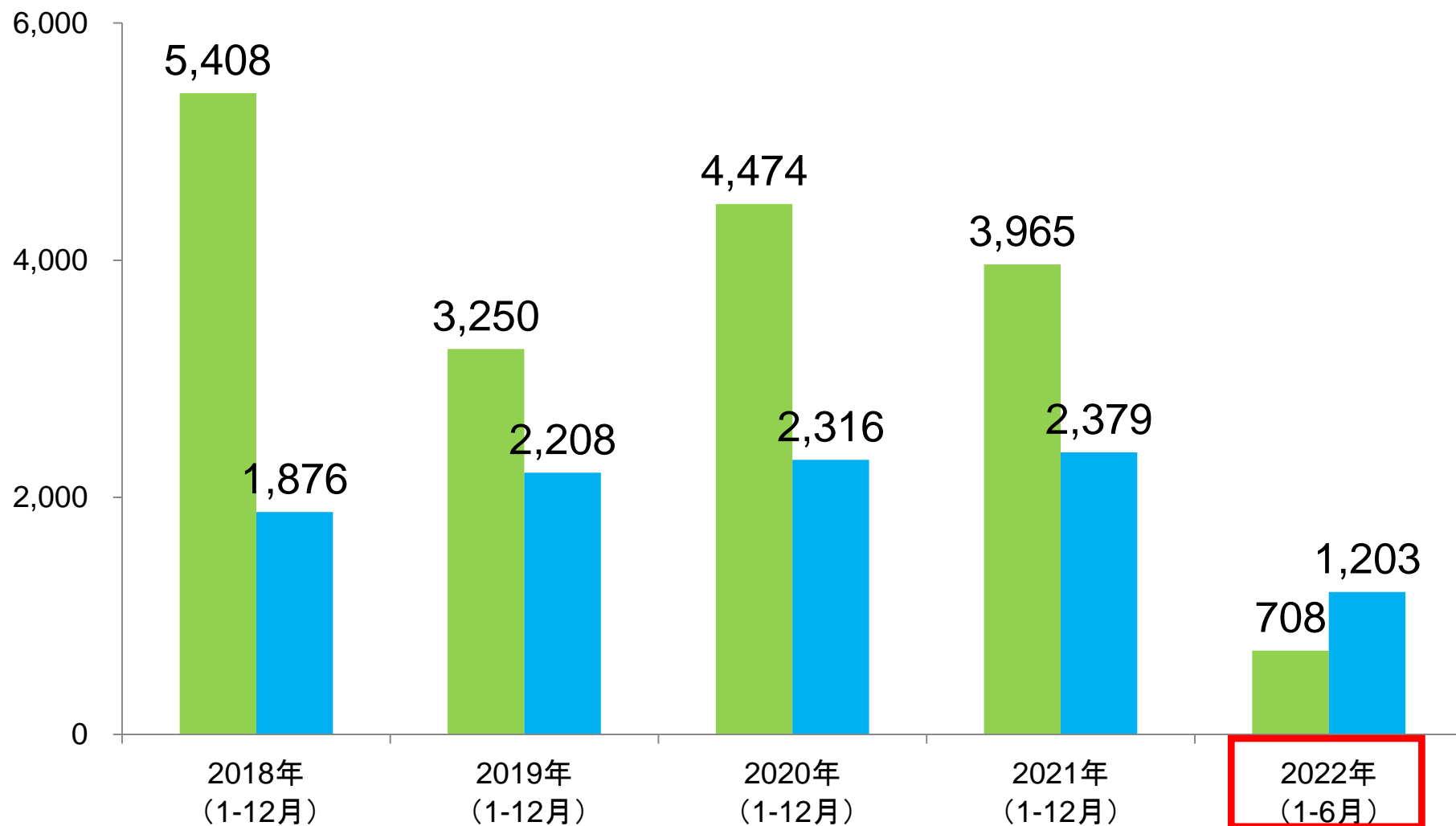
自己株式取得により財務キャッシュ・フローによる支出が増加



(※)キャッシュ・フロー計算書では定期預金残高は表現されませんので、BS「現金及び預金」とは一致しません。

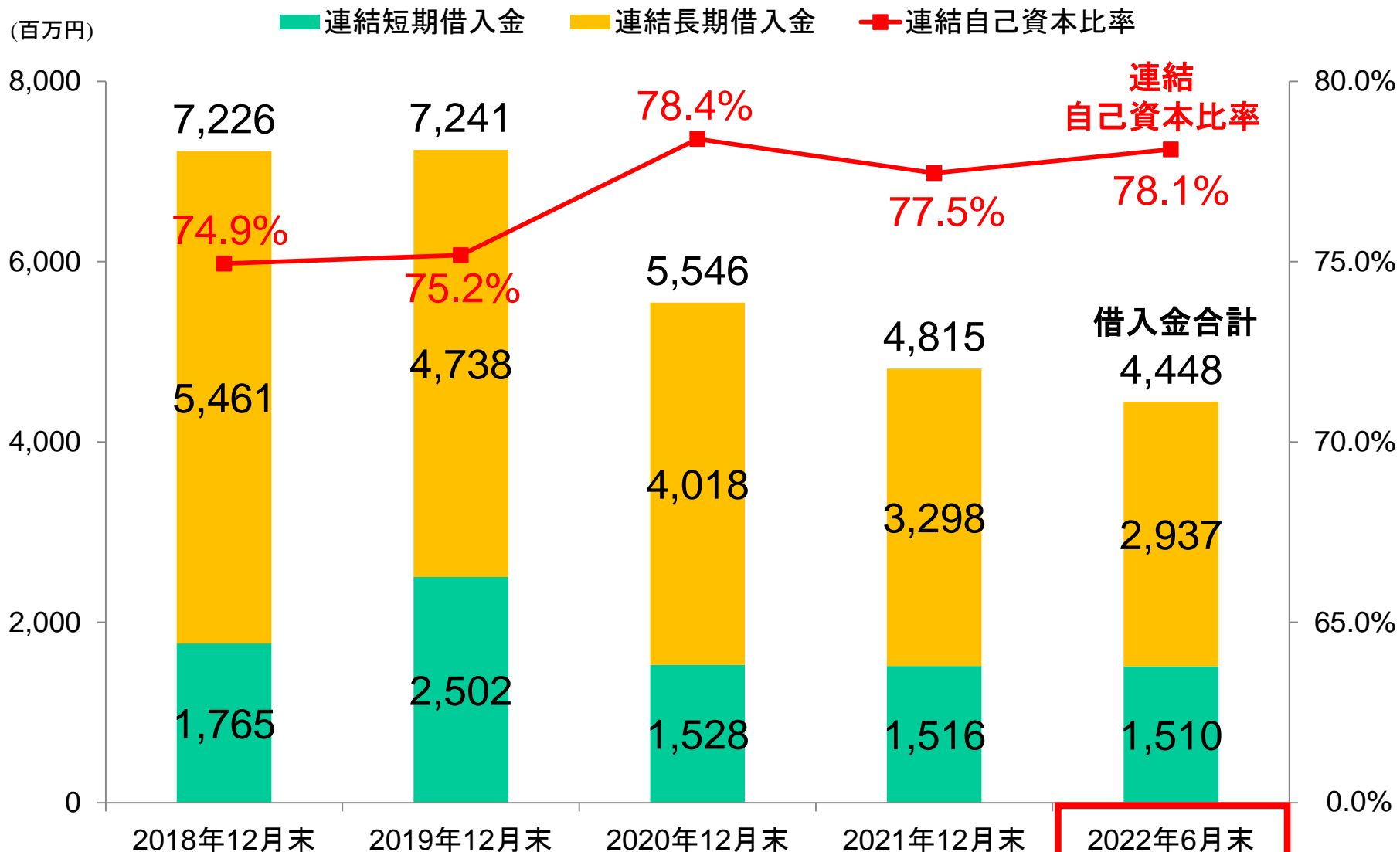
上半期は大きな設備投資なし

■ 連結設備投資金額 ■ 連結減価償却費

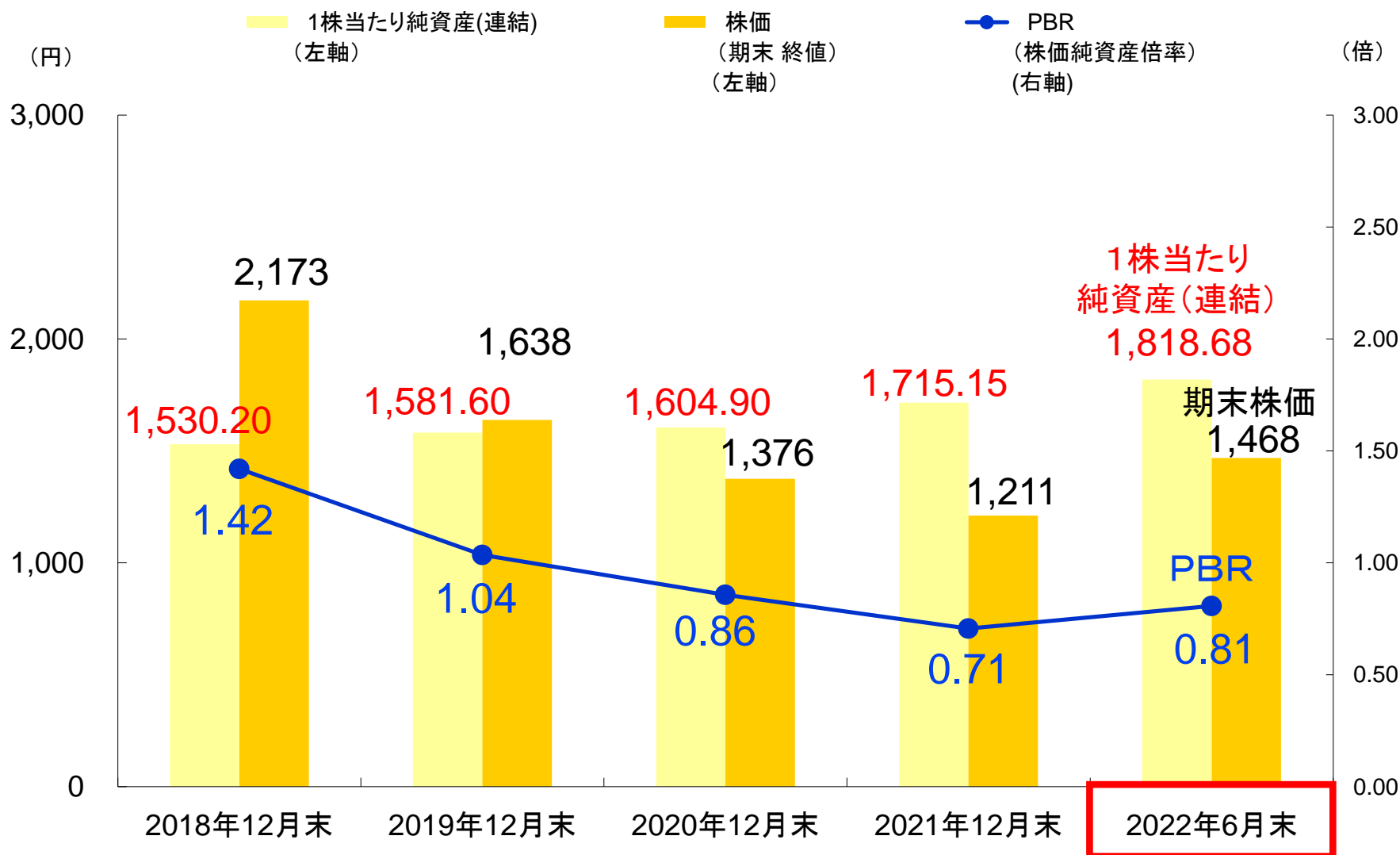


(※) 減価償却費からのれん償却額を控除しています

自己資本比率は高い水準を維持



1株当たり純資産は順調に増加、PBRも持ち直し傾向



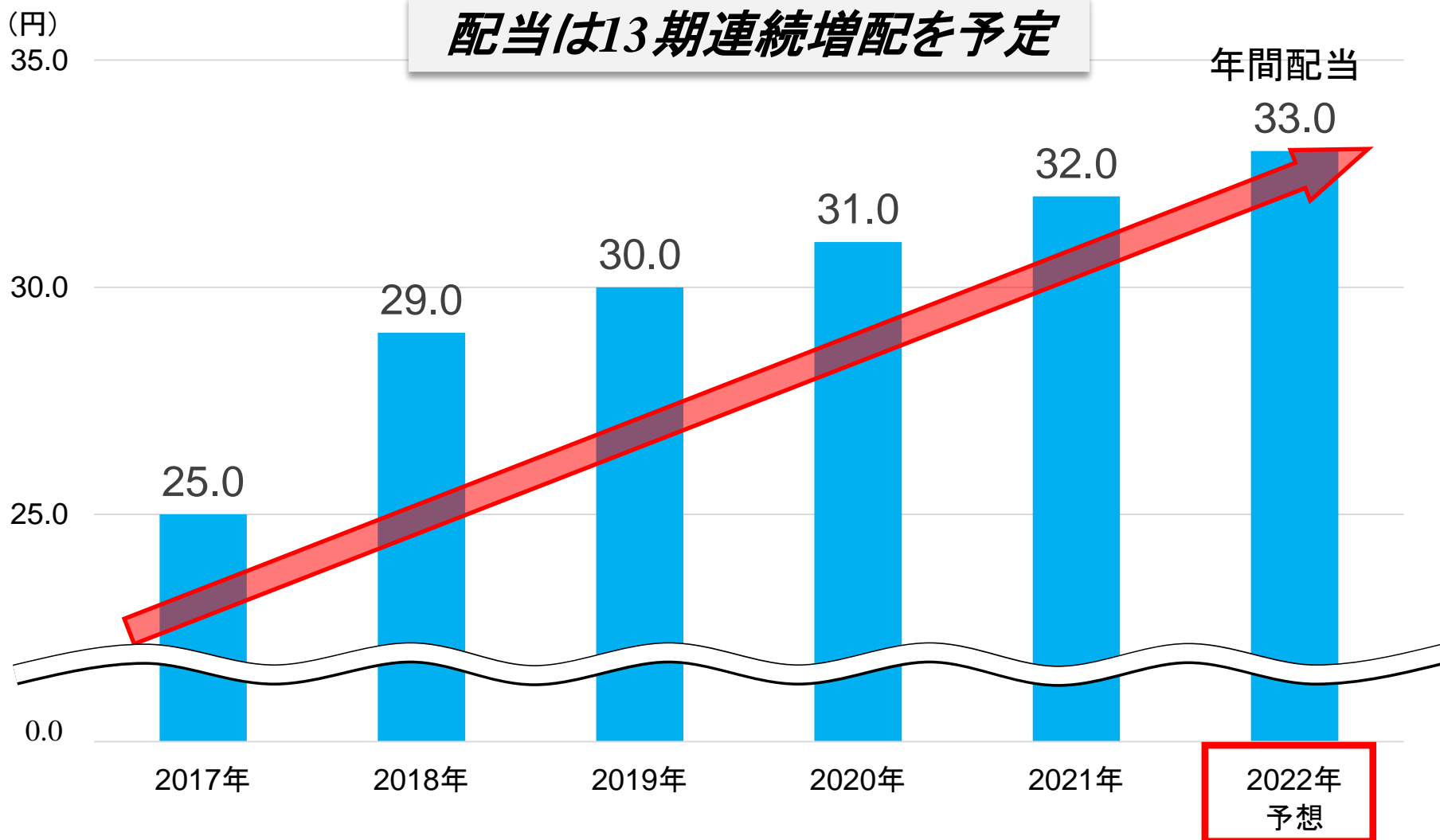
※) PBR(株価純資産倍率) = 期末株価 ÷ 連結1株当たり純資産

海外市場を中心に需要が底堅く推移する中、昨今の為替水準も勘案した結果、連結売上高をはじめ前回予想を上回る見通し。

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	64,000	8,320	8,700	5,900	105.54
今回修正予想(B)	67,000	9,000	10,000	6,800	122.78
増減額(B-A)	3,000	680	1,300	900	
増減率(%)	4.7%	8.2%	14.9%	15.3%	
(ご参考) 前期連結実績 (2021年12月期)	61,894	7,520	8,309	5,658	100.96

* 今期の想定為替レートを1米ドル=129円(前回1米ドル=107円)に変更。
6月末時点の為替水準が期末まで継続する前提で算定しております。

配当は13期連続増配を予定



連結1株当たり当期純利益(円)

144.73	100.31	77.84	67.57	100.96	122.78
--------	--------	-------	-------	--------	--------

違いが、美しい。

uni
MITSUBISHI PENCIL

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想となります。従って、潜在的なリスクや不確実性が含まれており、実際の業績はさまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。